

はばたけ新成人

二十歳の決意

1月4日(日)、日高町中央公民館において、平成27年日高町成人式を執り行いました。

式典には、新成人90人のうち75人(男子37人、女子38人)が出席し、大人への第一歩を踏み出しました。

松本町長が式辞で「成人となられたみなさんには、お互いを尊敬し、そこから生まれる協調、人と人とのつながりを大切にし、どのような困難にも負けない強い体と精神力を育て、失敗を恐れずこれからの時代に必要な担い手として、成長されることを願っています。みなさんがこれから進む道は、決して平坦な道ばかりではないと思いますが、自らの目標に向かって邁進し、今日の新成人としての慶びを忘れず、一度の人生、努力を怠らなければ、必ず報われると信じています」と激励。来賓の方々からもたくさんのお祝いの言葉が贈られました。

新成人を代表して、山本彩葉さんに記念品が贈呈され、楠岡孝之さんが謝辞で「今日まで私達を大切に育ててくれた両親には、時には腹も立ち、たくさんの迷惑をかけてきました。それでも、毎朝早くに起きてお弁当を作ってくれたり、雨の日や帰りが遅くなつた時には送り迎えをしてくれました。そんな両親の愛情によりやく感謝の気持ちを持てるようになってきました。私達もこれからは、そんな愛情を伝えられる大人になっていきます」と、新成人としての決意を述べました。

ノンアルコールのシャンパンで乾杯したあと、同館前で記念撮影と「門出」の花言葉があるスイートピーの種入りの風船を飛ばして祝いました。



